

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-154727

(43)公開日 平成8年(1996)6月18日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 5 D 20/50				
A 4 6 B 5/00		E 7361-3K		

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平6-300577

(71)出願人 392005687

株式会社ローレル

神奈川県秦野市栄町8番6号

(22)出願日 平成6年(1994)12月5日

(72)発明者 宇山 勝雄

神奈川県秦野市栄町8番6号 株式会社ローレル内

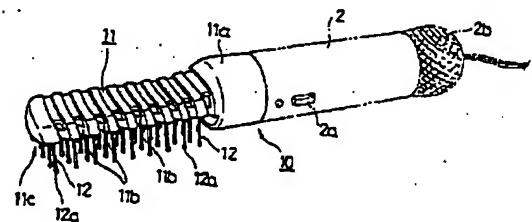
(74)代理人 弁理士 佐々木 功 (外1名)

(54)【発明の名称】 ブラシ付ヘアードライヤー

(57)【要約】

【目的】 本発明は、髪の毛等の毛をウェーブさせたりカールさせたりするブラシ付のヘアードライヤーに関し、髪の毛をウェーブさせたりカールさせたりする際に、ブラシ本体の側方部分や後方部分の髪の毛に温風・冷風を当てるようにしたブラシ付ヘアードライヤーの提供を目的とする。

【構成】 ドライヤー2に接続されるブラシ本体11の植毛部分11c側に設けた吹出し口から適宜な温度の風が吹き出すようにしたヘアードライヤーにおいて、前記ブラシ本体11の側方部分と背面部分のうち少なくとも側方部分に吹き出し口11bを設けたことである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ドライヤーに接続されるブラシ本体の植毛部分側に設けた吹出し口から適宜な温度の風が吹き出すようにしたヘアドライヤーにおいて、前記ブラシ本体の側方部分と背面部分のうち少なくとも側方部分に吹出し口を設けたことを特徴とするブラシ付ヘアドライヤー。

【請求項2】 ドライヤーに接続されるブラシ本体の植毛部分に設けた吹出し口から適宜な温度の風が吹き出すようにしたヘアドライヤーにおいて、前記吹出し口をブラシ本体の周方向に延設したことを特徴とするヘアドライヤー。

【請求項3】 吹出し口の延設部分が、ブラシ本体の側方から背面に回り込んで形成されていることを特徴とする請求項2に記載のヘアーブラシ。

【請求項4】 ブラシ本体に植設された植設ピンが、疎にして配設されていることを特徴とする請求項1、2または3に記載のヘアーブラシ。

【請求項5】 植設ピンの先端に、膨出状に球状体が設けられていることを特徴とする請求項1、2、3または4のいずれかに記載のヘアドライヤー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、髪の毛等の毛をウェーブさせたりカールさせたりするブラシ付のヘアドライヤーに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、ブラシ付ヘアドライヤー1の構成は、図10乃至図11に示すように、切替可能な温風や冷風を供給するドライヤー2と、該ドライヤー2の吹き出し開口部にアタッチメント3aを介して接続されるブラシ部3とからなっている。

【0003】 前記ブラシ部3の本体3bは、合成樹脂製で内部が中空になされ、該本体3bの表面側に長手方向に、多数の植設ピン4が並設して密に植毛されており、これらの植設ピン4の並列間に、温風等の風を外部に吹き出すための吹出し口5が、長孔状にして長手方向に列設されている。

【0004】 前記植設ピン4は、細長い針状に形成されており、その先端が頭皮等の皮膚を傷つけないようにR状に形成されている。

【0005】 このように構成されている従来のブラシ付ヘアドライヤー1は、ドライヤー2を作動させて例えば温風を送風し、その温風がブラシ本体3bの中空内部から吹出し口5を通して外部に吹き出す。よって、ブラシ部3の植設ピン4で髪の毛を、ブラッシングしながら乾燥させたり、髪の毛を巻き付けるようにしてウェーブさせたりカールさせたりしてヘアーメイクしていた。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の

ブラシ付ヘアドライヤー1では、髪の毛にウェーブやカール等の癖を付ける場合に、吹出し口5がブラシ部3の植設ピン4側にしか設けられていないこと、及び植設ピン4が密に長手方向へ配設されていることと相俟って、図12に示すように、温風等が植設ピン4の列間の髪の毛に吹き付けられるのみで、ブラシ本体3bの側面方向には温風等が行き届かなかった。

【0007】 即ち、ブラシ本体3bの長手方向に沿って縦に並んだ植設ピン4の隣接の間隔dが狭く密であるので、その間隔dに挟まった髪の毛で隙間が塞がれてしまい、当該本体3bの側方（短手方向）に温風がほとんど届かないものであった。

【0008】 よって、ブラシ本体3bに巻かれた髪の毛のうち、該本体3bの側方から背面に至る髪の毛に温風等が当たることがない。髪の毛にブラシ本体3bを巻き付けて、その本体3bの側方部分・背面部分に至る曲面部分を強く押し当てることでウェーブ等させようとしても、温風・冷風による熱処理が施されず効果的に髪の毛にウェーブ等の癖を付けるのが困難であった。

【0009】 このように、従来のブラシ付ヘアドライヤー1では、髪の毛にウェーブさせたりカールさせたりする際に、最も重要な作用をするブラシ本体3bの側方部分から背面部分において、ドライヤーからの温風や冷風等の風が髪の毛に供給されないので、効果的なヘアーメイクが出来ないという問題点があり、ブラシ付ヘアドライヤーの吹出し口と植設ピンの配設に解決すべき課題を有している。

【0010】 本発明は、上記の課題に鑑みてなされたもので、髪の毛にウェーブさせたりカールさせたりする際に、ブラシ本体の側方部分や背面部分の髪の毛に温風・冷風を当てるようにしたブラシ付ヘアドライヤーの提供を目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決し上記目的を達成するための本発明の要旨は、ドライヤーに接続されるブラシ本体の植毛部分側に設けた吹出し口から適宜な温度の風が吹き出すようにしたヘアドライヤーにおいて、前記ブラシ本体の側方部分と背面部分のうち少なくとも側方部分に吹出し口を設けたことである。また、ドライヤーに接続されるブラシ本体の植毛部分に設けた吹出し口から適宜な温度の風が吹き出すようにしたヘアドライヤーにおいて、前記吹出し口をブラシ本体の周方向に延設したことである。

【0012】 更に、前記吹出し口の延設部分が、ブラシ本体の側方から背面に回り込んで形成されていること；前記ブラシ本体に植設された植設ピンが、疎にして配設されていること；前記植設ピンの先端に、膨出状に球状体が設けられていることである。

【0013】

【作用】 本発明によるブラシ付ヘアドライヤーによれ

ば、ブラシ本体の側方部分から背面部分にも温風等が吹き出すようになり、髪の毛をウェーブさせたり若しくはカールさせたりする時に、ブラシ本体の側方部分の曲面部分を押し当てる型付け作用と、前記温風等の熱作用とが協同して、髪の毛に所望の癖が容易に付けられるようになる。

【0014】また、植設ピンを疎にしてブラシ本体の植毛部分に配設したことにより、ブラシ本体に巻かれた髪の毛の抵抗が減ると共に、温風等がブラシ本体の側方（短手方向）にスムーズに流れるようになる。そして、植設ピンの先端には、膨出状に球状体を設けることで、ブラッシングの際に頭皮等の皮膚を傷つけずにソフトタッチとなって快適なヘアメイクとなる。

【0015】

【実施例】次に、本発明に係るブラシ付ヘアードライヤーの実施例について図面を参照して詳細に説明する。

【0016】第1実施例に係るブラシ付ヘアードライヤー10は、図1乃至図9に示すように、温風や冷風を切替スイッチ2aで切り替えて、筒状体の先端側の開口部から供給し、後端部に髪の毛の吸い込み防止用フィルター2bを備えたドライヤー2と、該ドライヤー2に着脱用のアタッチメント11aを介して接続されるブラシ本体11からなるスタイリングブラシとから構成されている。

【0017】前記ブラシ本体11には、植毛部分11cに弾性を有する植設ピン12が本体の長手方向に沿って、例えば6列にして並設されている。各列における植設ピン12の配置間隔は十分離間させ疎にして配置されている。

【0018】そして、前記植設ピン12の先端には、ピン12の本体部分よりも膨出させた球状体12aが設けられ、該球状体12aは頭皮の保護のために設けるものである。なお、球形状に限らず、楕円形状若しくは半円形状であってもよい。

【0019】また、ブラシ本体11の植毛部分11cにおいて、本体の長手方向に疎にして配列した植設ピン12の間を、中央部から振り分けて短手方向へ抜けるようにして、吹出し口が設けられている。そして、該吹出し口は、本体の植毛部分11cから側方部分を経て背面部分へと至る周方向に延設されて吹出し口11bとなっている。これがブラシ本体11の長手方向に複数並設されている。

【0020】よって、前記吹出し口11bから温風等が、図2に示すように、ブラシ本体11の植毛部分11c側のみならず、ブラシ本体11の側方部分側と同じく背面部分側へと吹き出すことになる。

【0021】なお、前記植設ピン12は、図5に示すように、ブラシ本体11の短手方向に、弧状の曲線を描くように配置されている。それに伴い、前記吹出し口11bも弧状になっている。

【0022】また、ブラシ本体11の短手方向の断面形

状は、図2に示すように、略楕円形状になっている。

【0023】以上のようにして形成された第1実施例に係るブラシ付ヘアードライヤー10を使用すれば、ドライヤーから供給される温風や冷風等の風が、スタイリングブラシのブラシ本体11の吹出し口11bから吹き出し、ウェーブやカール若しくは前髪の立上げ等のヘアメイクが容易に出来るようになる。

【0024】即ち、ブラシ本体11の植毛部分11cからのみ前記風が吹き出すのではなく、ブラシ本体11の側方及び背面からも前記風が吹き出すので、巻き髪の毛の周方向のほぼ全体が素早くブローされ、かつ、セットされて、髪の毛に癖を付けやすくスタイリングが容易になるものである。

【0025】また、スタイリングブラシの植設ピン12の先端には、球体12aが設けられているので、ブラッシング時に植設ピン12の先端が頭皮に当接しても痛みを与えたり傷を付けたりすることがなく、ソフトタッチなブラッシングにすることが出来るものである。

【0026】次に本発明の第2実施例は、第1実施例で説明したブラシ本体11の、植毛部分11c側と側方側だけに吹出し口を設けるものである。このようにしても、巻き髪を素早くブローできるしセットも容易である。

【0027】また、第3実施例として、吹出し口を植毛部分11cから延設させないで、各々独立した吹出し口を植毛部分11cと側方部分と背面部分に設けたり、若しくは、植毛部分11bと側方部分とだけに設けたりすることもできる。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係るブラシ付ヘアードライヤーは、ドライヤーに接続されるブラシ本体の植毛部分側に設けた吹出し口から適宜な温度の風が吹き出すようにしたヘアードライヤーにおいて、前記ブラシ本体の側方部分と背面部分のうち少なくとも側方部分に吹出し口設けたものであり、また、ドライヤーに接続されるブラシ本体の植毛部分に設けた吹出し口から適宜な温度の風が吹き出すようにしたヘアードライヤーにおいて、前記吹出し口をブラシ本体の周方向に延設したものであるため、当該吹出し口から吹き出す温風等が、スタイリングブラシのブラシ本体に巻き付けた髪の毛のほぼ周方向の全体に吹き付けられ、素早いブローが可能となり、更に、髪全体に冷風等を吹き付けて素早くセットできるようにすると言う優れた効果を奏する。

【0029】ブラシ本体に植設された植設ピンが、疎にして配設されていること、更に、植設ピンの先端に、膨出状に球状体が設けられていることで、髪の毛のブラッシングや温風等の風の流れがスムーズとなってブローやウェーブがし易くなり、ブラッシング等で頭皮を傷つけたり痛めたりすることがなくソフトタッチなヘアメイクとなると言う優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例に係るブラシ付ヘアードライヤーの外観図である。

【図2】同ブラシ付ヘアードライヤーのブラシ本体の断面図である。

【図3】同ブラシ付ヘアードライヤーのブラシ本体の斜視図である。

【図4】同ブラシ付ヘアードライヤーのブラシ本体の平面図である。

【図5】同ブラシ付ヘアードライヤーのブラシ本体の底面図である。

【図6】同ブラシ付ヘアードライヤーのブラシ本体の左側面図である。

【図7】同ブラシ付ヘアードライヤーのブラシ本体の右側面図である。

【図8】図7におけるA-A線に沿った断面図である。

【図9】図7におけるB-B線に沿った断面図である。

【図10】従来例に係るブラシ付ヘアードライヤーのブラシ本体の正面図である。

【図11】同従来例に係るブラシ付ヘアードライヤーのブラシ本体の一部断面図である。

【図12】同従来例に係るブラシ付ヘアードライヤーに係る使用状態の説明図である。

【符号の説明】

1, 10 ブラシ付ヘアードライヤー、

2 ドライヤー、

11 ブラシ本体、

11a 接続部、

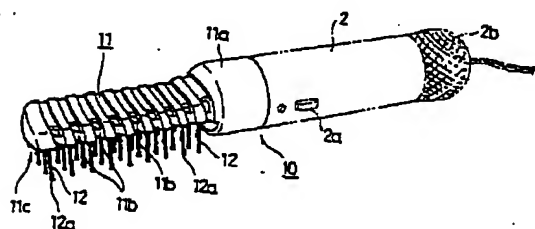
11b 吹出し口、

11c 植毛部分、

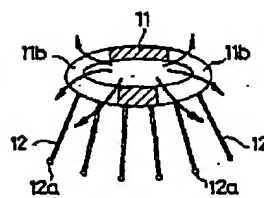
12 植設ピン、

12a 球体。

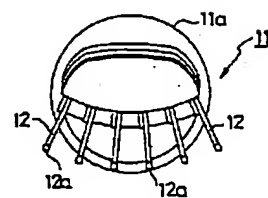
【図1】



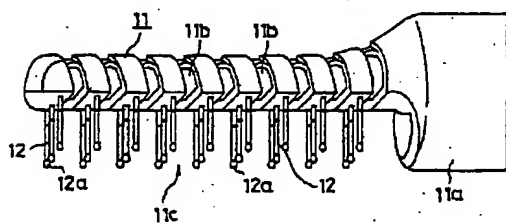
【図2】



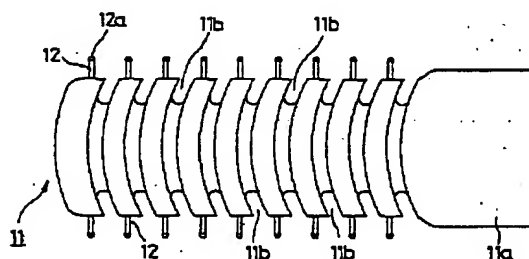
【図6】



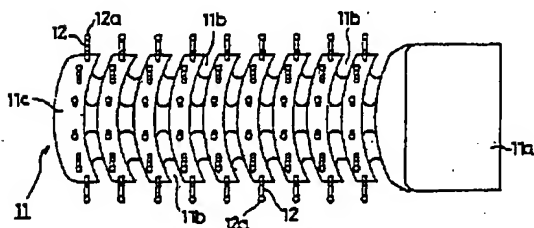
【図3】



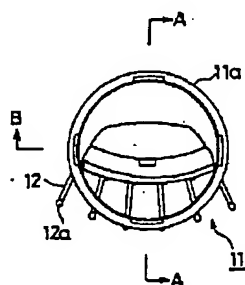
【図4】



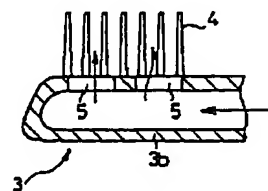
【図5】



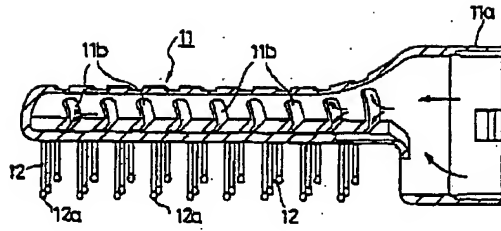
【図7】



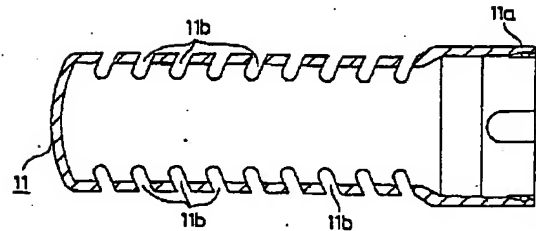
【図11】



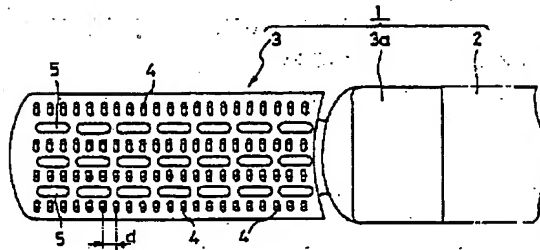
【図 8】



【図 9】



【図 10】



【図 12】

